

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-02-12
事務事業名	災害応急対策事業	根拠法令・要綱等	災害対策基本法
事業開始年度	平成18年度	問合せ先	担当課(室) 総務課 職・氏名 消防防災係長 大西武志 電話 64-1809
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目 基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目 施策	消防・防災	

事業の実施	対象(誰・何に対して)	防災関係機関、地域住民
目的(何のために)	災害対策基本法第40条の規定に基づき、市及びその他の公共機関が処理しなければならない防災に関する事務又は業務について計画を策定する。	
行政活動(どのような方法で)	備前市地域防災計画の策定、防災会議の開催	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	防災計画の策定	

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	防災会議	回	-	3	1
	地域防災計画印刷	部	-	-	300
	直接事業費	千円	-	45	408
	人件費	千円	-	1,522	700
	事業費計	千円	0	1,567	1,108
	国県支出金	千円	-	-	-
	受益者負担	千円	-	-	-
	一般財源	千円	0	1,567	1,108
	必要人員	人	-	0.18	0.08
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	防災会議	説明	-	-	-
	結果指標量	回	-	3	1
	対前年比	%	-	-	33.3%
	活動コスト	円	-	1,567,000	19,533
	単位当たりコスト	円	-	522,333	19,533
結果指標	地域防災計画印刷	説明	-	-	-
	結果指標量	部	-	-	300
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	-	-	389,167
	単位当たりコスト	円	-	-	1,297

事業の成果			
成果指標名	防災計画策定	式又は説明	進捗率
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	-	59%	100%
対前年比	-	-	169.49%
到達目標値	100%	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		目 的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E>	B
妥当性の評価	行政活動	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	合併により、旧備前市、旧日生町、旧吉永町それぞれの地域防災計画を新備前市として新たに策定する必要があり妥当である。	課題認識
		市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
		コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
有効性の評価	手 段	職 場	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	法により策定しなければならない。	課題認識
		目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
		成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
有効性の評価	市 民 参 画 度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	地域防災計画の作成に当たっては、防災関係機関、地域住民代表を委員として協議を行い策定した。	課題認識
		目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
		成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価		評価区分<A~E>	
地域防災計画を策定することは、法はもとより、地域防災上必要不可欠であり、18年度において策定、19年度に製本できたことは、合併後の目的が達成された。		B	

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	--	---	---------------------------------------

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果